

植物防疫情報第1号

令和4年4月8日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

タマネギべと病に注意してください

4月4日の病害虫防除所の巡回調査によると、タマネギべと病の発生圃場率は63.6%で、平年値(32.1%)よりやや高い。なお、広島地方気象台の4月7日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並とされており、発生を助長する条件ではないが、今後、降雨があった場合には、本病の発病が助長されると考えられる。

(防除上の参考事項)

- (1) 本病は、気温15℃前後(4月～5月上旬)で、雨が多いと多発生しやすくなる。
- (2) 本病は、多湿時には病斑上に白色または灰白色の分生胞子を形成し、これが風雨で飛散し、二次伝染源となって、急速な蔓延の原因となる(図1、2)。分生胞子の飛散範囲は広く、地域一体となった防除が必要である。
- (3) 圃場をよく観察し、全身感染症状(図1)の株は見つけ次第抜き取り処分を徹底する。
- (4) 薬剤防除は予防散布が望ましく、特に発病を確認した圃場では葉によく付着するように薬剤散布を行う。雨天等の天候や薬剤の残効性を考慮しながら、7～10日間隔の防除を行う。なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける(表1参照)。
- (5) タマネギのべと病菌は**ネギやワケギにも感染**し、二次伝染源となる。



図1 タマネギべと病の全身感染株



図2 二次感染株の初期病徴

表1 タマネギべと病の主な防除薬剤

令和4年4月5日現在

薬剤名	希釈倍数	使用基準		成分名 ^{注2)}		殺菌剤コード ^{注1)}	
		時期	回数	成分1	成分2	成分1	成分2
ヨネボン水和剤	500倍	収穫7日前まで	5回以内	ノニルフェノールスルホン酸銅	-	M1	-
Zボルドー	500倍	- ^{注3)}	-	塩基性硫酸銅	-		
クプロシールド	1,000~2,000倍	-	-	塩基性硫酸銅	-		
ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤	400~600倍	収穫3日前まで	5回以内	マンゼブ	-	M3	-
ダコニール1000	1,000倍	収穫7日前まで	6回以内	TPN	-	M5	-
フロンサイド水和剤 フロンサイドSC	1,000~2,000倍	収穫7日前まで 収穫3日前まで	5回以内	フルアジナム	-	29	-
リドミルゴールドMZ	500~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	メタラキシルM	マンゼブ	4	M3
フォリオゴールド	800~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	メタラキシルM	TPN		M5
ベジセイバー	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	ペンチオピラド	TPN	7	M5
アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫前日まで	4回以内	アゾキシストロビン	-	11	-
アミスターオプティフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	アゾキシストロビン	TPN		M5
シグナムWDG	1,500倍	収穫7日前まで	3回以内	ピラクロストロビン	ボスカリド		7
メジャーフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	ピコキシストロビン	-	-	-
ランマンフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回以内	シアゾファミド	-	21	-
ドーシャスフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内	シアゾファミド	TPN		M5
ホライズンドライフロアブル	2,500倍	収穫3日前まで	3回以内	シモキサニル	ファモキサドン	27	11
ダイナモ顆粒水和剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	シモキサニル	アミスルブロム		21
ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	シモキサニル	ベンチアバリカル ブイソプロピル		40
ブリザード水和剤	1,200倍	収穫7日前まで	3回以内	シモキサニル	TPN		M5
カーゼートPZ水和剤	1,000倍	収穫3日前まで	3回以内	シモキサニル	マンゼブ		M3
フェスティバルC水和剤	600~800倍	収穫7日前まで	3回以内	ジメトモルフ	銅	40	M1
ザンプロDMフロアブル	1,500~2,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジメトモルフ	アメトクトラジン		45
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイ ソプロピル	TPN		M5
カンパネラ水和剤 ベネセット水和剤	750~1,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイ ソプロピル	マンゼブ		M3
ジャストフィットフロアブル	3,000倍	収穫7日前まで	3回以内	ベンチアバリカルブイ ソプロピル	フルオピコリド		43
レーバスフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	マンジプロパミド	-		-
オロンディスウルトラSC	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	マンジプロパミド	オキサチアピプロリン		49
ビシロックフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	3回以内	ピカルブトラゾクス	-	U17	-

注1) 殺菌剤コード：FRAC（殺菌剤耐性菌対策委員会 <https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>）による農薬有効成分の作用機構の分類。同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達回避のため、連用を避ける。

注2) 混合剤については、各成分の総使用回数に注意して散布する。

注3) 使用基準欄の「-」は、登録制限無しを示す。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようにお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

